

実践経営学会会報

「新たな元号」のもと、 「新たなころ(志・意・試・心)」の学会実現を

会長 井形 浩治 (大阪経済大学)



令和元年 会員皆様おめでとうございます。平成の時代におきましては、研究報告、論文投稿等の学術活動のみならず、学会運営に関わる諸々の業務への貢献まで、会員皆様には本当に支援ご鞭撻賜りました。お世話いただきました会員皆様全員の御名前を列举できませんが、学会執行部の一メンバーとして、この場を借り深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、私は1990(平成2)年に石川県の金沢星稜女子短期大学専任講師赴任直後に、富山大学名誉教授の水谷内徹也先生(現本学会名誉会員)の推薦で本学会に入会させていただき、その後2度にわたり所属大学を変更し、来(2020)年度で「満30歳」の会員となります。思い起こせば、島田裕司学会本部長をはじめ執行部の先生方、現在名誉会員の諸先生方のほとんどに入会以来「お世話になりっぱなし」で、加えて私より会員歴も年齢も低い若手の諸先生方にも「助けられっぱなし」でした。

今年度は、第53期(2020年4月1日)～55期(2023年3月31日)の理事選出選挙が行われます。令和という時代で、新たな会長のもと新たな学会執行部がつくられ、さらなる本学会の発展に寄与していただけることとなります。

また、9月6日(金)～8日(日)に金沢星稜大学にて第62回全国大会が開催されます。全国大会実行委員長は奥村実樹先生(金沢星稜大学)、大会事務局長は谷畠範恭先生(金沢星稜大学女子短期大学部)に担っていただく予定です。思い返せば第56回全国大会(2013年)は、私が実行委員長として弊学(大阪経済大学)で執り行わせていただきました。その後会長職として、第57回(2014年)の北海学園大学(実行委員長・菅原浩信先生)、第58回(2015年)の亜細亜大学(実行委員長・夏目重美先生)、第59回(2016年)の近畿大学(実行委員長・田中敬一先生)、第60回(2017年)の宮崎大学(実行委員長・根岸裕孝先生)、そして昨年の第61回(2018年)の神戸山手大学(実行委員長・久富健治先生)まで、微力ながらも開催の準備等でお手伝いさせていただきました。いずれも、実行委員長・事務局長の大変なご尽力の下、記憶に残る「価値ある全国大会」となりました。

今年度大会地の金沢には、特別な感を持ってございます。前に述べましたが、私は最初の大学教員として6年間、金沢で過ごさせていただきました。現在、新幹線で東京から直接つながっていますが、25年前の同地はまだ東京・関西からの距離感も感じられ、良い意味でのミステリーな側面を持つ「北の都」でした。今回、開催期間が3日間という短い時間では堪能できないかも知れませんが、東京・関西では高級寿司店でしか味わえないネタを持つ回転すし店、他では味わえないオムライスのある洋食店、一度食べるとはまってしまう餃子専門店・ラーメン店、一流温泉地に匹敵する効能温質を持つ町の銭湯、室生犀星・泉

鏡花などの大文学者を輩出した土壌、・・・そして「加賀百万石」としての威厳と格式、この地独自の「がんこ」と呼ばれる人のやさしさ。ご発表される予定の先生方はもちろんですが、今年度の金沢大会是非いらしてください。

話題は変わりますが、1989（平成元）年の世界における時価総額ランキング上位50社において、1位NTT、2位日本興業銀行、3位住友銀行・・・50位までの中で、日本の企業・金融機関は32社も占めていました。しかし、2018（平成30）年の同ランキングでは、1位アップル、2位アマゾン・ドットコム・・・50位までの中で、日本の企業・金融機関は35位のトヨタ自動車のみです（『週刊ダイヤモンド』2018年8月25日号より）。これは「量的」な敗北・課題を意味するともいえます。

明治初期（1877～1881年）に金沢を擁する石川県（金沢県）は、当時の都道府県区分で日本最大の人口を有していたようです。むろん、現在（2015年調査）は断トツで一極集中の「東京」が1位で、石川県は34位です。しかし、金沢・石川は、東京、関西その他の地域にはない魅力を「継承」して持ち続けています。人口動向や生産力は「量」ですが、国内外の人が常に関心し続ける魅力は「質」です。この地は相対的に「量」が目減りする中、「質」の維持と拡大を常にイノベティブに進めてきたのではないかと推測されます。

金沢は、我われが平成の時代に喪失した「何かを取り戻す」、もしくはこれまで気付かなかった「何かを生み出す」視覚・・・それとも「世界観？」のヒントが得られるところのような気がします。

「金沢での全国大会」を通じ、講演・報告という「目前のこと」を活発に学び議論しつつ、「金沢の地そのもの」を通じて、令和時代の日本・日本企業のあり方、経営における「新たな実践」という「やや茫洋な遠景」も見渡せないかと期待しております。

実践経営学会第62回全国大会のご案内

ご挨拶

第62回全国大会実行委員長 奥村 実樹
(金沢星稜大学経済学部)



実践経営学会第62回全国大会は、2019年9月6日（金）～8日（日）の3日間、金沢星稜大学（石川県金沢市）において、下記の統一論題のもとに開催されます。

今回の全国大会は、2015年3月北陸新幹線の開通と共に、観光客が大勢訪れる長い伝統と新しさの二面性を持つ金沢市で開催することとなりました。多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

また自由論題におきましても、多数のご報告をお待ちしております。

【統一論題】

「伝統と革新が共存する都市の創造」

【解 題】

交通機関の発展、特にその利便性の高さから大きな影響をもたらす新幹線の延伸は、大都市圏とのアクセスを容易にするため、地方都市の産業に非常に大きな影響を与えます。旅行業界やホテル・旅館業界、運輸業界ならびに地元商業界、また、増加する旅行者の流入に応えるため、駅周辺の再開発や新規ホテルの着工などといった土地開発の増加に伴い不動産業界、建設業界にもプラスの影響が考えられます。

さらに、上記のような直接的な影響を受ける産業以外にも、その利便性による人々の流入による経営環境の変化は、地元産業、地元企業にとって大いなる追い風となり得ます。県外企業や海外企業も、経営上のチャンスと考え新たな進出を考えています。

今回の統一論題では、歴史的な建造物に加え、工芸・美術・文学・音楽といった文化や、まちなみを長年大事に育みながら、同時に、先端技術を有する製造業や、高い競争力を持つ幅広い情報産業も充実している金沢が、北陸新幹線の開通により、その方向性をどう定めていくべきなのかを扱います。また、それは、金沢のみならず、全国各地にも該当する普遍的なテーマとして議論する価値のあるものだと考えております。

【プログラムの概要】

9月6日（金） 夕刻：理事会

9月7日（土） 午前：自由論題

午後：1. 開会式

2. 統一論題シンポジウム（基調講演・質疑）

夕刻：研究・情報交換会

9月8日（日） 午前：自由論題

午後：総会

【ホテルのご案内】

金沢は新幹線開通以降、金沢駅周辺と、武蔵が辻から片町にかけての通り沿いに様々なタイプのホテルなど宿泊施設があります。ご希望のお宿をご予約いただきますようお願いいたします。

金沢駅では、大学方面へのバスは、駅前側（東側）に乗り場があり、距離的にも西側より近くなります。なお、東側のホテルから会場（金沢星稜大学）まで、タクシーでは1,000-1,500円となります。

なお、会場までもっとも近い宿泊施設は以下になります。

☆ホテルエコノ東金沢

（金沢市小金町3-28 TEL 076-252-7151 タクシー利用 750-1,000円程度 バス停あり）
シングル1泊 9／6（金）9／7（土）ともに¥7,000（税込・朝食無料サービス）

第62回全国大会 自由論題報告者の募集について

第62回全国大会における自由論題報告者を下記の要領で募集いたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

1. 応募資格

- (1) 会員であること（非会員との共同報告は認められておりませんので、応募に際しては入会手続きをお願いいたします）。
 - (2) 2018年度までの年度会費に未納がないこと（共同報告者も同じ）。
 - (3) 2019年度会費が、報告論文の提出期限2019年7月28日（日）までに納入されていること（共同報告者も同じ）。
- ※在外会員で報告をご希望の方は、本部事務局（jsam.headoffice@gmail.com）までお問い合わせください。

2. 応募方法 「自由論文提出用アドレス【jsam62.ronbun @gmail.com】」

下記の項目を明記の上、上記の「全国大会実行委員会（自由論文提出用）アドレス」へお申し込みください。メールの件名は「JSAM 第62回全国大会自由論題報告応募」としてください。共同報告の場合は、共同報告者の（1）、（2）、および主たる報告者の（5）についても明記してください。なお、報告日時のご希望はお受けできません。

- (1) 氏名（ふりがな）
- (2) 所属機関名・肩書（大学院生の場合は「課程」を明記）
- (3) 報告テーマ
- (4) 報告論文の概要（400字程度）およびキーワード（3～4語）
- (5) 連絡先（メールアドレス、郵便番号、住所、電話・FAX 番号）

※Eメールを日常使用されない方は、期限までに全国大会実行委員会あてに郵送でご応募ください。

※自由論題報告は、9／7（土）午前、および9／8（日）午前を予定しています。

3. 応募期限 2019年6月28日（金）17：00必着

※これを受けて、常任理事会へのプログラム案の策定、その他の事務手続きに入りますので、期限厳守をお願いいたします。

4. 報告論文の提出期限 2019年7月28日（日）厳守

提出期限までに報告論文が届かない場合には、『実践経営学研究』への掲載ができなくなるとともに、全国大会プログラムに報告予定が記載されていても、全国大会当日の報告は認められないことになっております。

加えて、次年度における全国大会での報告についても制約を受けることになっておりますのでご注意ください。

5. 報告論文の提出 「自由論文提出用アドレス【jsam62.ronbun@gmail.com】」

本学会の全国大会におきましては、慣例として、いわゆる「全国大会予稿集」「レジュメ集」などは作成しておりません。代わりにフルペーパーの公式論文集『実践経営学研究』を編集・刊行し、全国大会当日に配布することになっております。そのため、報告者は、作成した報告論文を、上記の「全国大会実行委員会（自由論文提出用）アドレス」まで、メール添付にてお送りください（郵送での送付をご希望の方は全国大会事務局までお問い合わせください）。メールの件名（表題）は「JSAM 第62回全国大会報告論文送付」としてください。

また、編集作業の都合上、報告論文は Word による作成をお願いいたします。

学会 HP より Word ファイルの雛形をダウンロードしてご使用ください。

（学会 HP アドレス <http://jsam.org/convention/index.html>）

校正の機会はありません。

6. 報告論文の執筆要領 （学会 HP の雛形ファイルと同様の内容です）

- （1）A4版横書き（1 ページは40字×40行）で8～10ページ（図表、注釈、参考文献等を含む）。
- （2）1 ページ目は、まず、下記の項目を明記し、□（罫線）で囲む（1 行に入らない場合は、ポイントを下げて調整する）。

①論題名（メインタイトル） 和文14ポイント（明朝）、英文半角10.5ポイント（Century）

②副題（サブタイトル） 和文12ポイント（明朝）、英文半角 10ポイント（Century）

③所属・氏名 和文11ポイント（明朝）、英文半角10.5ポイント（Century）

（例）

～のマネジメントに関する事例研究

A Case Study of Management of～

近畿大学経済学部□□□□□田中□敬一

Kindai University□□□□□Keiichi Tanaka

- （3）最終ページの36行目以降は余白とする。
- （4）本文構成は、「はじめに」、「章・節（1.、2.・・・）」、「項（(1)、(2)・・・）」等とする。
- （5）本文中に、目次、構成等の表示はしない。
- （6）本文は10.5ポイント（明朝）とし、引用部分の表示、図・表の出展表示、文末注釈については10ポイント（明朝）とする。
- （7）表のタイトルは「表1・・・」とし、当該表の上部に表記する。
- （8）図のタイトルは「図1・・・」とし、当該図の下部に表記する。

※ [6. 報告論文の執筆要領] に関するお問い合わせは、本部事務局 (jsam.headoffice@gmail.com) までお願いします。

7. Cancellation Policy

全国大会での報告機会を確保したにもかかわらず、全国大会当日・当時刻に、相当の理由なく欠席されますと、次年度における全国大会での報告ができなくなります。欠席せざるを得ない事情が発生しましたら、できる限りすみやかに全国大会実行委員会までご連絡ください。

8. その他

何かご不明な点がありましたら、「全国大会実行委員会アドレス」、もしくは本部事務局 (jsam.headoffice@gmail.com) までお問い合わせください。

第62回全国大会実行委員会

実行委員長 奥村 実樹 (金沢星稜大学)

事務局長 谷畠 範恭 (金沢星稜大学女子短期大学)

全国大会実行委員会 E-mail : zenkoku62@yahoo.co.jp

以上

会員の異動（入会・退会）2018.10.1～2019.3.31

入会会員 9名（敬称略）

お名前	ご所属	担当支部	入会承認日
平田 貞代	芝浦工業大学大学院理工学研究科 准教授	関東	2018/08/21
谷本 和也	学校法人大手前学園 情報メディアセンター 課長代理	関西	2018/09/05
鈴木 悠夫	名古屋経済大学大学院 博士後期課程	中部	2018/11/20
永田 千香	名古屋経済大学大学院 博士後期課程	中部	2018/11/20
市原健太郎	名古屋経済大学大学院 博士後期課程	中部	2018/11/20
中川 大輔	名古屋経済大学大学院 博士後期課程	中部	2018/11/20
西口 竜太	名古屋経済大学大学院 博士後期課程	中部	2018/11/20
西村 好文	名古屋経済大学大学院 博士後期課程／京都府山城広域振興局税務室	中部	2018/11/20
千葉 直美	石巻大学 職員	東北	2018/12/15

退会者 18名（敬称略）

相澤 哲夫	一條 博幸	姜 徳洙	北島 啓嗣	佐藤 英達
柴田 聡	埜本 一雄	高橋 典子	田中 晴人	中野 晴之
中本 義徳	野村佐智代	廣岡 久生	黄 八洙	藤本 正徳
宮田矢八郎	森下あや子	徳丸 史郎		

各地での支部活動

本学会では、年次の全国大会開催のほかに、これを補うことを目的として、全国の8都市に支部が置かれており、適宜（年に2回程度）、**実地研究、地域研究、研究発表、会員相互の交流・親睦等**の活動が行われています。

会員はすべて住居地あるいは勤務地等によって、8支部のいずれかに所属することになっており、各支部長より、支部活動の予定が、e-メール、又は郵便等の方法によって伝えられます。

会員は、配属された支部会への参加が義務づけられるものでもなく、原則として、**全国のどこの支部活動へも参加ができること**になっています。ただし、プログラムの内容や準備の都合上、参加できないこともあります。またその時の天候、交通、その他の事情により、活動が中止または順延されることがありますので、不意の参加は避けてください。あらかじめ当該支部長にメールアドレス等により、事情をお問い合わせください。

なお、各地の支部活動は、実践経営学会のホームページにて、すべての会員に対して周知されています。

なお、支部会における研究報告は、1年に1回、学会本部から刊行される機関誌『実践経営』への投稿資格の一つとなることが定められています。積極的な参加をお勧めします。

在外会員の方は、本部事務局 jsam.headoffice@gmail.com へお問い合わせください。各地の支部の概要は以下の通りです。

北海道支部

支部長 菊池 真一（北海商科大学）
連絡先 TEL&FAX：011-577-9278
E-Mail：jsam.hokkaido@gmail.com

東北支部

支部長 三森 敏正（石巻専修大学）
事務局長 浅野 浩子（仙台白百合女子大学）
支部顧問 吉田 信一（富士大学）
TEL：0198-23-6221 Fax：0198-23-5818
E-Mail：jsam.tohoku@gmail.com

関東支部

支部長 夏目 重美（亜細亜大学）
連絡先 E-Mail：jsam.kanto@gmail.com

北陸支部

支部長 奥村 実樹（金沢星稜大学）
事務局長 谷畠 範恭（金沢星稜大学女子短期大学部）
支部顧問 水谷内徹也（富山大学）
連絡先 E-Mail：jsam.hokuriku@gmail.com

中部支部

支部長 大島 俊一（中部大学経営情報学部）
事務局長 向日 恒喜（中京大学経営学部）
連絡先 〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学
TEL：052-835-7111（代）
E-Mail：jsam.chubu@gmail.com

関西支部

支部長 田中 敬一（近畿大学）
事務局長 稲田 賢次（大阪学院大学）
連絡先 E-Mail：jsam.kansai@gmail.com

中国・四国支部

支部長 小原久美子（県立広島大学経営情報学部）
連絡先 TEL & FAX：082-251-9743
（小原研究室直通）
E-Mail：jsam.chuugoku.shikoku@gmail.com

九州支部

支部長 伊佐 淳（久留米大学経済学部）
事務局長 増山 正紀（増山人事労務センター）
連絡先 E-Mail：jsam.kyusyu@gmail.com

支部会からのご案内

■ 関西支部会 第73回 実践経営学会 関西支部会のご案内

関西支 部 長 田中 敬一

〃 事務局長 稲田 賢次

第73回の実践経営学会関西支部会を次の要領にて開催いたします。お忙しい時期ではありますが、令和元年初めの学会ですので、奮ってご参加ください。

記

■日 時：令和元年 6 月22日（土）13時00分～17時30分

※終了後 懇親会（希望申込者のみ）

■場 所：京都産業大学 むすびわざ館 3F 3A 教室（京都市下京区）※ HP でご確認ください

■参 加 費：会員 1,000円（非会員 1,500円、院生【学生】無料）

■懇親会費：4,000円 ※事前申込制です。下記宛先までメールお申し込みください。

■申込締切：6月12日（水）

■連 絡 先：李 為 先生 宛 lee@cc.kyoto-su.ac.jp

■ご 注 意：事前申込をせず当日申込をされてもお断りする場合があります。また、当日のキャンセルは実費ご負担となります。ご了承ください。

■スケジュール

研究報告 65分（発表：40分、コメント：10分、質疑応答：15分を目安）

12：45～	受付開始
13：15～13：20	開会挨拶 田中 敬一（近畿大学） 総合司会 李 為（京都産業大学）
13：20～14：25 (65分)	■研究発表 報告者：楊 樂華（京都大学大学院） テーマ：小売企業の国際化における標準化―適応化戦略についての一考察 ～ユニクロ中国を事例にする～ 座 長：吉村 泰志（帝塚山大学） コメンテーター：松田 温郎（山口大学）
	休 憩（10分）
14：35～15：40 (65分)	■研究発表 報告者：栗田 真樹（流通科学大学） テーマ：スマートフォンゲーム“Pokémon GO”を用いた地域振興 座 長：田中 敬一（近畿大学） コメンテーター：稲田 賢次（大阪学院大学）
	休 憩（10分）
15：50～17：05 (75分)	■企画発表（事例紹介） 報告者：橋本 雅司（㈱豊通シスコム） テーマ：ワークスタイル変革における RPA の役割 ～導入事例と課題～ 座長&コメンテーター：名瀬 浩史（近畿大学）
17：05～17：15	閉会挨拶 井形 浩治（大阪経済大学） 連絡事項
17：30～	懇親会（事前申込希望者のみ）

以上

■ 東北支部会 実践経営学会・東北支部会（第24回）のご案内

実践経営学会 支部長 三森 敏正

拝啓 時下、ますますご清祥の事とお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、実践経営学会・東北支部会（第24回）のご案内をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。ご多用の時期と拝察致しますが、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、当日の支部会における発表者を募集致します。奮ってご応募をいただきたくお願い致します。

詳細が決まり次第、またご連絡させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

まずは、支部会開催のご案内まで。

敬具

記

実践経営学会・東北支部会（第24回）

■日 時：2019年8月3日（土）

報告会 13：00～17：00 懇親会 未定

■場 所：ハーネル仙台 かえでA・B <http://www.heanel.jp>

■住 所：〒980-0014 仙台市青葉区本町2-12-7 Tel 022(222)1121

■会 費：500円

■設 備 等：PC・プロジェクタ等必要な方は各自ご用意ください。

■申込締切：7月19日（金）

■申し込み：ご報告を希望される方につきましては、氏名、所属、報告テーマを明記して、
仙台白百合女子大学・浅野までご一報下さい。

なお、ご参加の有無もご連絡いただきたくお願いいたします。

ご不明の点がございましたら、以下のところまでお願い申し上げます。

■支部事務局：仙台白百合女子大学・浅野浩子

〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1

電話：022-372-3254（大学代表番号）FAX：022-375-4343（代表）

メールアドレス：asano@senndai-shirayuri.ac.jp

以上

■ 関東支部会 実践経営学会関東支部会開催のご案内

関東支部長 夏目 重美（亜細亜大学）

下記のとおり、関東支部会を開催いたします。ご参加いただける場合には、研究報告の有無に係わらず、事務局宛、Eメールにてお知らせください。なお、プログラムの詳細は、後日（7月初旬）、HP 上でご案内いたします。

記

■ 日 時：2019年7月20日（土）

受付12時30分・開会13時00分

第一部（13時00分～16時00分） 研究報告 4～5 名予定

（報告20分、コメント・質疑10分を予定）

第二部（16時00分～17時00分） 講演会

演 題：「日本剃刀の伝統と技術」

講 師：岡山 英之進 氏（理髪業・日本カミソリ研究家）

■ 場 所：亜細亜大学 541教室（5号館）

■ 交 通：JR 武蔵境駅北口、ムーバス乗車、7番「亜細亜大学南門」下車1分

■ 申 込：氏名、所属、研究情報交換会参加の有無を明記してお申し込みください。

なお研究報告ご希望の方は、報告テーマ、概要（200字～400字）を添えて、
2019年6月28日（金）までにお知らせください。

■ 参加費：500円、研究情報交換会（18時～）：2,000円

■ 事務局 E メール宛先：jsam.kanto @ gmail.com

実践経営学会事務局からのご連絡

■ 住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、
jsam.headoffice2@gmail.com（会員情報管理専用メールアドレス）までご連絡ください。

■ 第52期 会費納入のご案内

第52期の会費納入のご案内が皆様のお手元に届いていると思いますが、万が一お手元に届いていないという方がいらっしゃいましたら下記メールアドレスまでご一報ください。

全国大会および各地域支部会における報告資格は、「年会費を納入済みの会員」となっております。
ご注意ください。

お問い合わせは、jsam.headoffice2@gmail.com まで。

■ 各支部からのご連絡などは、学会ホームページをご覧ください

実践経営学会ホームページ（<http://www.jsam.org/>）では最新情報を随時掲載しております。

各支部からの情報は、ホームページをご活用ください。

また、ご登録いただくことにより、ニュースをメールで受け取り事ができますので是非ご利用ください。

■ 全国大会の詳細について

更に詳しい内容は本会報次号でお知らせいたします。

実践経営学会

JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT

発行日：2019年6月20日

発行所：実践経営学会

発行者：会長 井形 浩治

〔本部〕〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学経営学部 井形研究室内

〔本部事務局〕〒113-0033 東京都文京本郷1-26-3 東洋学園大学現代経営学部 平野賢哉研究室内

制 作：(株) マインド